

アルバイトを優先させる学生の特徴

隅田充洋

1. 問題意識

2006年に社会学調査実習では、大阪教育大学生のアルバイトに関する実態調査(アンケート調査)を行った。この調査を行った問題意識のひとつとして、授業やクラブ・サークルよりもアルバイトを優先する人には一体どのような傾向があるのだろうかというものがあった。そこで今回、調査結果をもとに、アルバイトを優先させる人にはどういった傾向があるのかを分析していきたいと思う。

2. 分析方法

まず、アンケート中に以下の設問を用意した。

授業とアルバイトの優先度に関して

- ・授業のために決まっていたアルバイトを休んだか。
- ・臨時のアルバイトのために、出ないといけない授業を休んだか。
- ・臨時のアルバイトのために、でなくてもいい授業を休んだか。

クラブ・サークルとアルバイトの優先度に関して

- ・クラブ・サークルのために決まっていたアルバイトを休んだか。
- ・クラブ・サークルの人間関係のためアルバイトを引き受けたか。
- ・臨時のアルバイトのため、クラブ・サークルに行かなかったか。

回答方法は「よくある」「時々ある」「あまりない」「全くない」の四選択とした。

その結果の表、及びグラフは以下の通りである。

表 1

授業－アルバイト 優先度 (有効回答数 154)	よくある	時々ある	あまりない	全くない
授業のために決まっていたアルバイトを休んだ。	4(3%)	26(17%)	33(21%)	91(59%)
臨時のアルバイトのために、出ないといけない授業を休んだ。	1(1%)	13(6%)	21(14%)	119(77%)
臨時のアルバイトのために、でなくてもいい授業を休んだ。	9(6%)	24(16%)	24(16%)	97(62%)

(単位：人)

図 1

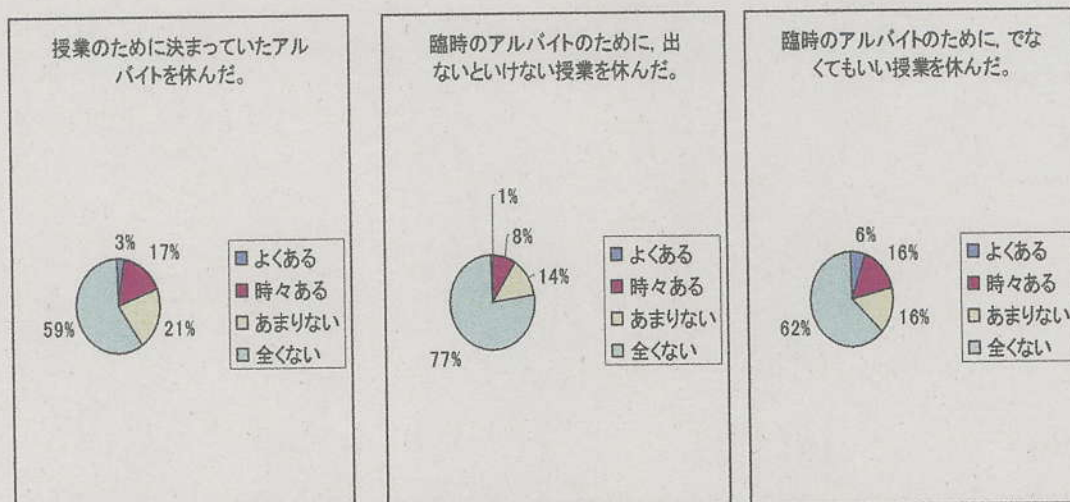
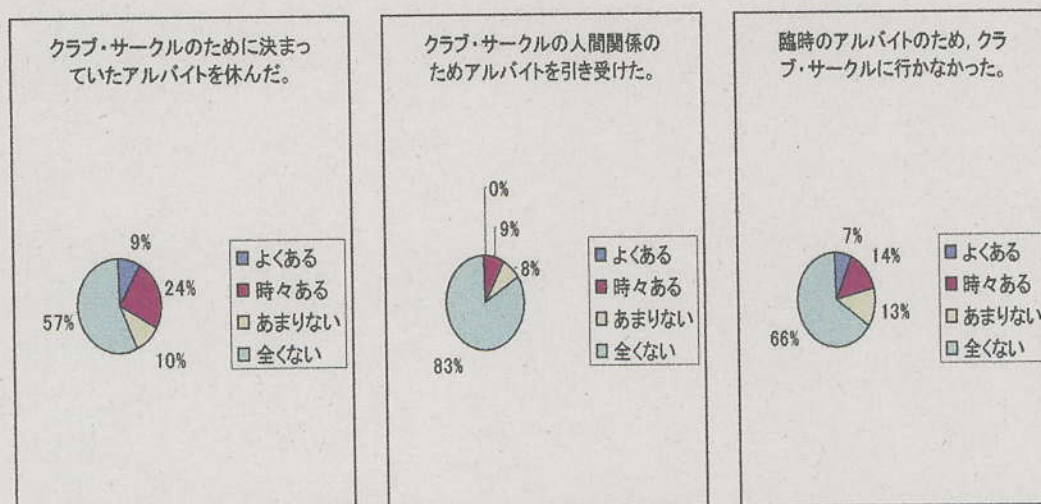


表 2

クラブ・サークルアルバイト優先度 (有効回答数 152)	よくある	時々ある	あまりない	全くない
クラブ・サークルのために決まっていたアルバイトを休んだ。	13(9%)	37(24%)	15(10%)	87(57%)
クラブ・サークルの人間関係のためアルバイトを引き受けた。	0(0%)	13(9%)	12(8%)	127(83%)
臨時のアルバイトのため、クラブ・サークルに行かなかった。	11(7%)	22(14%)	19(13%)	100(66%)

(単位：人)

図 2



次に、それぞれの回答に以下の点数を与える。

表 3

授業－アルバイト 優先度	よくある	時々ある	あまりない	全くない
授業のために決まっていたアルバイトを休んだ。	4	3	2	1
臨時のアルバイトのために、出ないといけない授業を休んだ。	1	2	3	4
臨時のアルバイトのために、でなくてもいい授業を休んだ。	1	2	3	4
クラブ・サークル－アルバイト 優先度	よくある	時々ある	あまりない	全くない
クラブ・サークルのために決まっていたアルバイトを休んだ。	4	3	2	1
クラブ・サークルの人間関係のためアルバイトを引き受けた。	1	2	3	4
臨時のアルバイトのため、クラブ・サークルに行かなかった。	1	2	3	4

これにより点数の低いほどアルバイト優先、高いほど授業あるいはクラブ・サークル優先であるとみなすことが出来る。

個人ごとに点数を計算し、以下のように分類した。

表 4

授業－アルバイト	人数	
7点以下	25(16%)	⇒アルバイト優先型
8～9点	104(68%)	⇒両立型
10点以上	25(16%)	⇒授業優先型

表 5

クラブ・サークル－アルバイト	人数	
7点以下	20(13%)	⇒アルバイト優先型
8～9点	98(65%)	⇒両立型
10点以上	34(22%)	⇒クラブ・サークル優先型

3. 結果

アンケート結果をもとにそれぞれのタイプにはどのような特徴があるかという傾向を分析した。分析は、各選択肢において、アルバイト優先型、両立型、授業優先型の人数の割合平均を取り、その割合平均より最も離れた型をそれぞれの選択肢の特徴とした。

まず、授業とアルバイト。

表 6

授業－アルバイト	アルバイト優先型	両立型	授業優先型
性別	男性	女性	
回生	4回生	1～3回生	
住まい	下宿		自宅
彼氏・彼女の有無		いない	いる
登録コマ数	少ない	多い	
一ヶ月のアルバイト日数	多い		少ない
アルバイトの掛け持ち	あり		なし
アルバイトを続けている期間	長い	短い	長い

次にクラブ・サークルとアルバイト。

表 7

クラブ・サークル－アルバイト	アルバイト優先型	両立型	クラブ・サークル優先型
性別	男性	女性	
回生	3回生	1, 4回生	2回生
住まい		自宅	下宿
彼氏・彼女の有無	いる	いない	
登録コマ数		多い	少ない
一ヶ月のアルバイト日数	多い		少ない
アルバイトの掛け持ち	あり		なし
アルバイトを続けている期間	短い		長い

4. 考察

授業－アルバイト比較

性別：男性はアルバイトを優先させる傾向にある。

回生：4回生はアルバイトを優先させやすい傾向にある。4回生は時間的な余裕が生まれることが大きな要因であると考えられる。

住まい：下宿生はアルバイトを優先させやすい。下宿費、水光熱費、食費などを稼ぎ出すためには当然の結果だと言えるだろう。

彼氏・彼女の有無：彼氏・彼女がいる方が授業を優先させる傾向にある。いわゆる“真面目な”彼氏・彼女が求められているということだろうか。

登録コマ数：少ないとアルバイトを優先させる傾向にある。

一ヶ月のアルバイト日数：当然ながら多いとアルバイト優先度が高い。

アルバイトの掛け持ち：あるとアルバイト優先度が高い。これも当然と言えるだろう。

アルバイトを続けている期間：アルバイト優先，あるいは授業優先の両極に振れる傾向があった。うまく調整出来ているからこそ，長く続けられるということか。

クラブ・サークルアルバイト比較

性別：男性はアルバイトを優先させる傾向にある。

回生：2回生はクラブ優先，3回生はアルバイト優先の傾向が出た。

住まい：下宿生はクラブ・サークルを優先させやすいという結果が出た。

彼氏・彼女の有無：アルバイトを優先させるという傾向が出た。

登録コマ数：少ないとクラブ・サークル優先の傾向が出た。

一ヶ月のアルバイト日数：多いとアルバイト優先度が高い。

アルバイトの掛け持ち：あるとアルバイト優先度が高い。

アルバイトを続けている期間：長いとクラブ・サークルを優先させる傾向がある。

両比較

どうも男性は女性に比べアルバイトを優先させやすい傾向にある様である。これは今回の結果の中で最も顕著に表れた傾向である。回生の比較では，授業数(必修授業)の減る4回生では授業－アルバイトでアルバイト優先の傾向になりやすいというもっともな結果が出たが，クラブ・サークルアルバイト比較では，クラブ・サークルの主力を担うであろう3回生がアルバイト優先になりやすい傾向があるというのは意外であった。彼氏・彼女の有無に関しては，当初はアルバイトでデート費を稼ぐ必要があるから，アルバイト優先であろうと予測していたが，授業とアルバイトでは授業の方が大事な様である。「相手方」も真面目な彼氏・彼女がいいということなのであろうか。最後に，当然と言えるかもしれないが，登録コマ数が少なければアルバイト優先の傾向があり，また，アルバイトを掛け持ちしているとアルバイトを優先する傾向にあるらしい。

5. まとめ

本論文の問題意識，「アルバイトを優先させる人にはどういった傾向にあるのか」に対し，

1，女性よりは男性

2，2，3回生，あるいは4回生といった上級回生

3，自宅生よりは下宿生

という結論に達した。結論としては予想通りと言えなくもないが，アルバイト，クラブ・サークル，授業の3項目間の優先順位の傾向などがつかめたことは有用な発見であった。